

第14回 全国大会・研究発表大会

ベストペーパー賞 受賞記

同志社大学 金田 重郎

この度は、ベストペーパー賞に選考を頂き、深く感謝申し上げます。大変名誉なことであり、審査員の方々をはじめとして、学会関係者の方々、大会参加者の方々に、心より感謝申し上げます。

受賞対象論文は「ハッセ図としてのクラス図・ER 図について」です。本論文は、7年ほど前から、井田明男先生と共同して研究を始めた「クラス図はどう書けば良いか」とする一連の研究の一つの到達点とっております。この研究プロジェクトにおいて、個人的に、思い出が深い発表としては、「日本語仕様文からの概念モデリングガイドライン（電子情報通信学会、論文誌 J98-D、NO.7、2015年7月）」があります。「クラス図は英語である」とする論文ですが、この論文の方法論のみでは、具体的にクラス図を描くためには不十分でした。そこを何とかしたいと思って、井田明男先生と議論を続けてきた、一つの結果とっております。

その発表に対して、現場で情報システムを作って来られたプロの集団である情報システム学会において、高く評価して頂いたことを、素直に感激しております。

今回の論文の内容は、大まかなところでは間違っていないと信じておりますが、細かい所では、詰めが甘い部分があるかも知れません。また、いくら著者が「到達点」だと自称していても、ガイドラインが現実社会における開発の参考に資するものでないと、何の意味もありません。

今回の受賞を一つの「励み」として、どうすれば、社会のお役に立てる研究になるのかを、考えてゆきたいと念じております。誠に、誠に、ありがとうございました。